2022 AIIT PBL

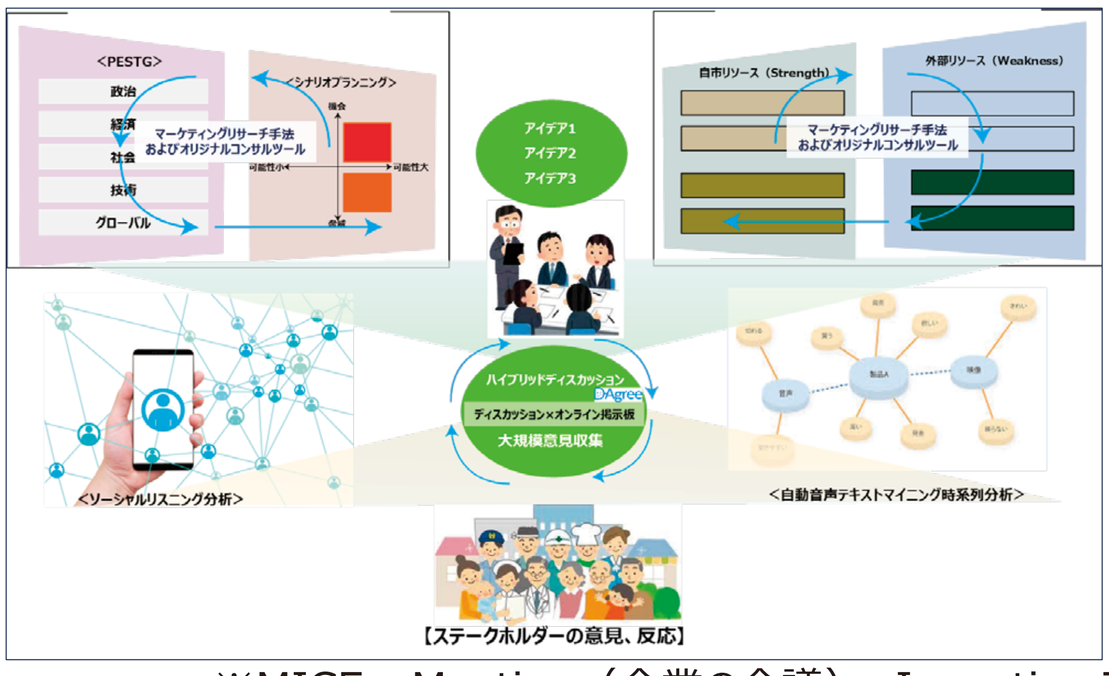
事業設計工学コース
松 尾 PT

上原 あずさ　佐藤 正明
笈田 邦彦　山本 節彦
北田 尚弘
久保田 豊

主担当教員：松尾 徳朗 教授
副担当教員：細田 貴明 准教授
木下 修司 助教

MICE向けコンサルティングモデルの構築

事業概念図



新型コロナウィルスの影響で観光産業は国内外共に深刻な打撃を受けており、ポストコロナを見据えたビジネスモデルの転換が急務である。このような不確実性が伴う時代において、MICE※を運営するコンベンションビューローや主催者は新たな運営スタイルの確立、観光スタイルニーズの掘り起こしが必要である。

本PTでは、自治体や住民などのステークホルダーからハイブリッドディスカッションという新たな手法で幅広く意見を収集し、新たな知見を提供する「MICE向けコンサルティングモデルの構築」を行った。

※MICE：Meeting（企業の会議）、Incentive Travel（研修・報奨旅行）、Convention（国際機関や学会が行う国際会議）Exhibition／Event（展示会や見本市・イベント）の頭文字を繋げて造った総称

社会実装実験

第8回 国際観光コンベンションシンポジウム

シンポジウム名
第8回 国際観光コンベンションシンポジウム
ウィズコロナとポストコロナの国際会議誘致・開催にむけて

開催日時
第1回目：2021年10月12日(火) 13:00～17:00 Zoom Meeting
第2回目：2021年10月26日(火) 13:00～17:00 Zoom Meeting
オンライン掲示板への意見の書き込み期間
2021年10月13日(水) ～ 2021年10月25日(月)

対象者
コンベンションビューロー職員および管理職、ホテル、運輸交通、観光関連、官公庁の職員
国際会議場等の施設職員など

ワークショップでの討論テーマ
①ウィズコロナにおけるインバウンド回復に向けた取り組み
②ハイブリッド開催が増加する中、現地開催への取り組み
③リスクマネジメントに関する取り組み

ワークショップは、ディスカッションとオンライン掲示板を用いたハイブリッドディスカッションを採用。
松尾PBLメンバは「持続的インバウンドツーリズム推進調査グループ」として参画し、
ワークショップでのハイブリッドディスカッションに対するコンサルティングを実施。

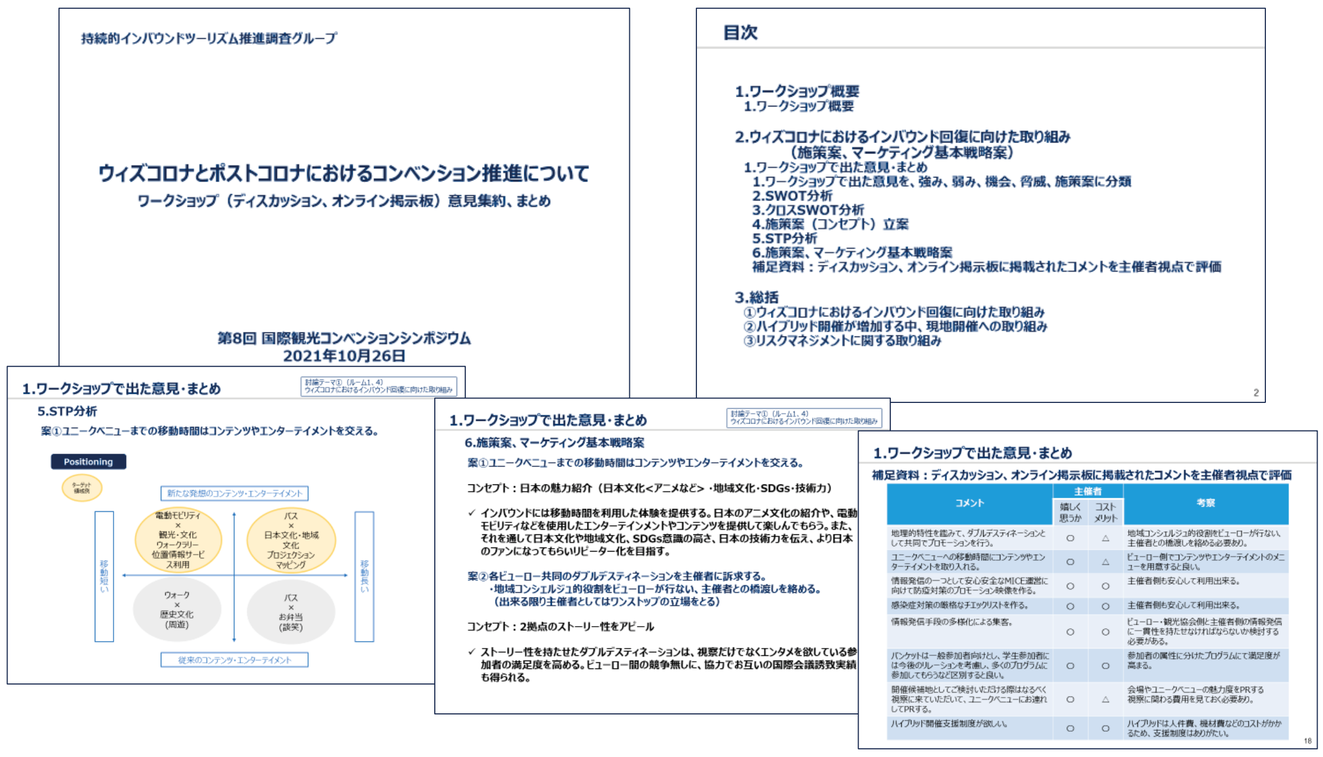
第1回目（10/12）
・講演
・ワークショップ
ハイブリッドディスカッション
①ディスカッション（オンラインミーティング<Zoom>）
②オンライン掲示板（AI意見集約ツール<D-Agree>）

10/13～25
オンライン
掲示板書き込み

第2回目（10/26）
・講演
・ワークショップフィードバック
説明資料
ワークショップレポート
持続的インバウンドツーリズム推進調査グループPR

AI意見集約ツール <D-Agree>

ハイブリッドディスカッションに対するコンサルティング レポート（抜粋）



事業計画書（抜粋）

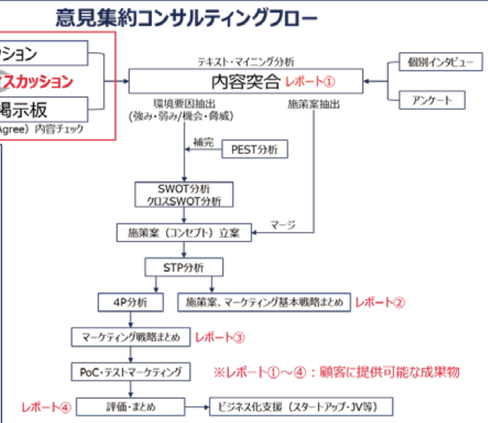
サービス名、対象顧客、サービスの特徴

サービス名　「MICE向け意見集約コンサルティング」
対象顧客　コンベンションビューロー、自治体 他
サービスの特徴　ハイブリッドディスカッションにて、様々なステークホルダーの声を吸い上げるとともに小さい声まで集め、あらゆる課題を抽出（AI意見集約ツール利用）していく。ここで得られた課題をベースに、マーケティングリサーチ手法およびオリジナルコンサルツールを活用したコンサルティングを実施する。

本サービスの優位性

情報収集は一般的に、個別インタビュー、グループインタビュー、ディスカッション、アンケート等が用いられる。
本コンサルティングではディスカッションとオンライン掲示板を用いたハイブリッドディスカッションを採用。
<ハイブリッドディスカッションの効用>
ディスカッションでの発言は躊躇するがオンライン掲示板への投稿は出来るといったケースの意見を拾える。
<AI意見集約ツール（D-Agree）を用いる効用>
大規模なオンライン掲示板にAI意見集約ツールを用いることで、大多数意見に埋もれてしまう貴重な少数意見を拾える。
これらの方法を使うコンサルティングは市場に存在しない。また、ハイブリッドディスカッションの分析においては経験が積み重なっており、競合が直ぐに模倣することは出来ない。

意見集約コンサルティングフロー



市場規模、市場成長性

MICEのもたらす効果への期待は高く、経済波及効果は回復し2030年には2兆円を超える可能性がある。また、MICE向けコンサル市場は年100億円程度と推定。

MICEの市場

Beforeコロナ（2018年）
- ビジネス目的訪日外国人数は**年間437万人**、MICEの経済波及効果は**1兆590億円**
- 新たに生じた雇用創出効果は96,000人分

Withコロナ
- 開催予定の**71%が中止・延期に、開催はオンライン・ハイブリットが主流**となる。

Postコロナ
- MICEのもたらす効果への期待は高く、現地開催への回復の兆しがある。
- 一時的に落ち込んだ経済波及効果は回復し、**2030年には2兆円**を超える可能性がある。（観光庁MICE国際競争力強化委員会提言をもとに独自に算出）

コンサル市場

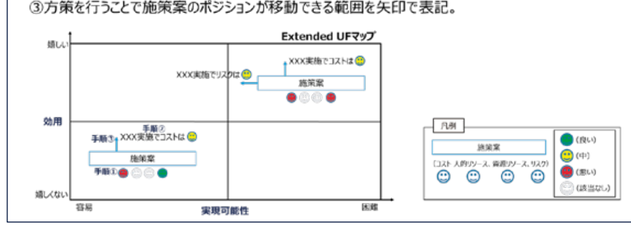
MICE向けコンサル市場は100億円程度と推定
- MICEの企画にかけられる予算はMICE市場規模の5%程度、そのうち外部コンサルに委託する規模は10%程度と推定すると、**コンサル市場規模は100億円。**
- 開催方法が多様化しており、ステークホルダーの意見収集・分析を従来以上に行う必要性からコンサル活用機会は増加を見込む。

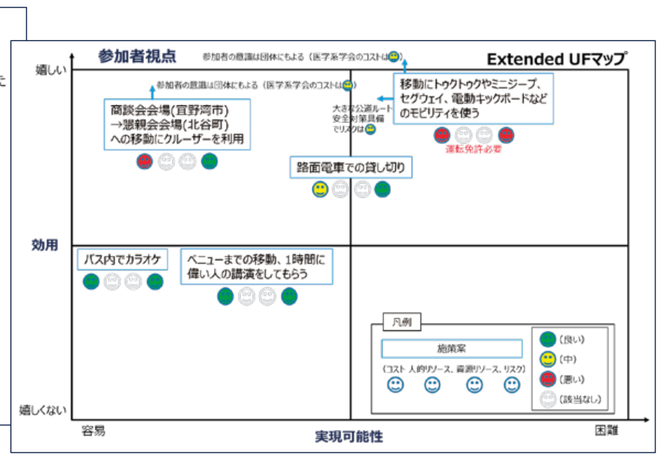
オリジナルコンサルツール

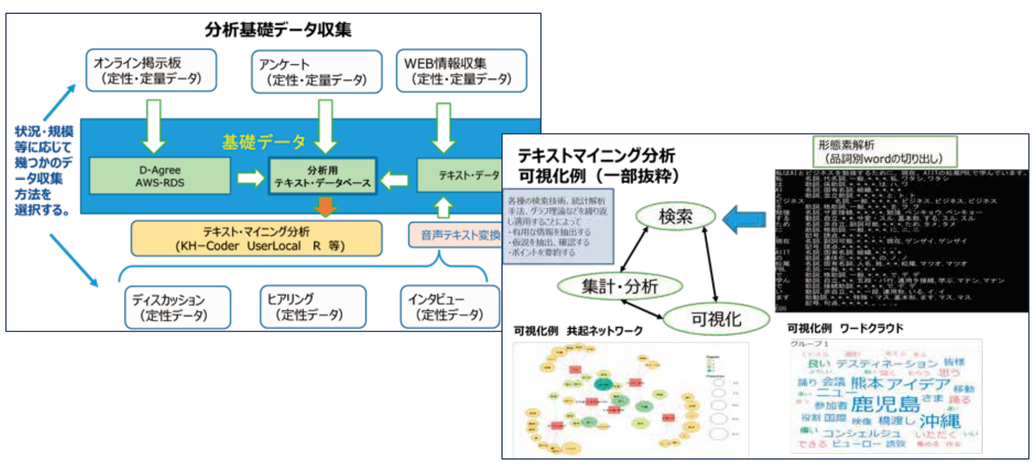
Extended UFマップ

Extended UFマップ
・UF：効用（Utility）、実現可能性（Feasibility）
・Extended：コスト、人的リソース、資源リソース、リスク
・Extended UFマップは経営戦略策定の環境分析ツールであるPEST分析やSWOT分析にて導き出された施策案に対して、実現に向けての方策を立てることが可能。

活用手順
①施策案を効用と実現可能性の2軸でプロット。
プロットする際に考慮する、コスト、人的リソース、資源リソース、リスクをマップ上で明示。
②プロット後、効用を高め、実現可能性を容易にさせる方策を記述。
③方策を行うことで施策案のポジションが移動できる範囲を矢印で表記。





ハイブリッドディスカッション分析

分析基礎データ収集